（いわて）

2021.12　No.　333

会長挨拶

令和３年度日臨技認定試験開催される

一般社団法人　岩手県臨床衛生検査技師会
会長　菊池英岳

日臨技認定試験はこれまでは、各部門ごとに日時・場所を決めて行われてきました。昨年度はコロナの影響で全て中止となりましたが、今年度は状況が改善傾向にあるため、開催する方向で検討した結果、感染対策を十分に行って、12 月 5 日（日）幕張メッセを貸切、全国から一堂に会してもらい 1 日で完結する方法で行いました。わたしは受験する方ではなく試験員として参加してきました。前日の精度管理報告会から参加した方もおられたようですが、早い部門は午前中で終わり、遅いところは午後 4 時ころまでかかったようです。長机に一人というソーシャルディスタンスを保った環境で筆記試験・実技試験が粛々と行われ大きなトラブルもなく終了しました。今回初の試みでしたが、総括をして次回も同じような形態での開催を予定しています。

タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に参加した佐々木まゆみさんから感想頂きました

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に参加して

岩手県立宮古病院　佐々木　まゆみ

第204回通常国会において「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律（令和3年法律第49号)」の成立により、臨床検査技師等に関する法律の一部が改正され、令和3年10月1日から施行されることとなり、それに基づき、去る11月27日土曜日、新型コロナウイルス感染症の落ち着いた感のある杜の都仙台にて行われた「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」に参加させていただきました。

本来であれば8月末に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大中と言うことで11月に延期となりました。会場ではもちろんの事、感染対策が施され実技研修が行われました。

講習会に参加する前には、日臨技HP内においてWebにて700分もある基礎講習を受講（視聴）しなければならず、その時点でいろいろな内容についてタスク・シフト/シェアが行われる事がわかりました。

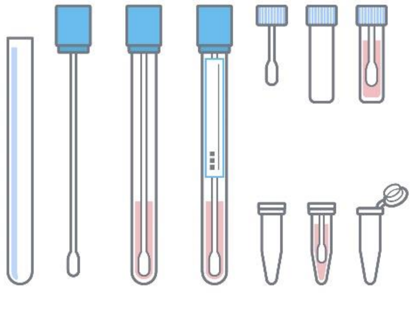
タスク・シフト/シェアの内容としては、各々の病院によって行える業務、行っていない業務やできない業務等あると思われましたが、医療人として、臨床検査技師として技術や知識を覚えておく、知っておく事は悪いことではないと思いました。

やったことはないものの、静脈路確保と造影剤注入等、皮下グルコース検査は身近な感覚ではありましたが、成分採血や肛門機能検査、誘発電位等検査については自分の勉強不足な事もあり、初歩的なところからの勉強となりました。また、吸引痰や内視鏡献検体採取は臨床検査技師だけで行う行為行える業務ではなく、タスク・シフトよりシェアとなる検体採取行為で他職種とともに行う業務と感じました。

Webでの視聴だけではやはりよくわからない事が多くあり、それを実際にやってみること（実技）で知識と技術の習得ができるように思いました。

一日講習を受けましたが、それでもビデオの視聴という講義もあり、本来ならもっと時間が必要なのだろうと感じ、現場で繰り返しの実技（経験値）が大切なのだと実感しました。

二年か三年ぶりで久々に集まって行われた講習会でしたので、人とのつながりをも感じる事ができ、とても有意義な研修会になりました。



研修会の案内

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和 3 年度 日臨技北日本支部研修会臨床検査総合部門研修会

開催案内

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主 催:(一社)日本臨床衛生検査技師会 北日本支部

実務担当技師会・共催:福島県臨床検査技師会

[テーマ]　「新しい検査領域への対応」
[開催場所と形式]　福島県立医科大学駅前キャンパスおよび Zoom を使用したライブ配信
(公立大学法人　福島県立医科大学保健科学部)　https://fmu-hs.jp/
[開催日時]　令和４年２月５日（土）
[定員]　８０名
[申し込み期間]　令和３年１１月１５日（月）～令和４年１月２２日（土）
[受講料]　会員 1,000 円　非会員　3000 円
[生涯教育研修制度]専門教科　　２０点
[研修会事務局]
960-0112　福島市南矢野目字鼓田 6-1　いちかわクリニック内　藤野　高志
☎：024-554-0303
✉kita.sougouR3@gmail.com

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
令和 3 年度 日臨技北日本支部研修会　　臨床一般部門研修会」開催案内
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 北日本支部
実務担当技師会：宮城県臨床（衛生）検査技師会

【テーマ】「考えて伝える尿検査 ～尿沈渣検査 2010 から新時代へ」

【日 時】令和 4 年 2 月 1 日（火）13：00 ～ 2 月 28 日（月）15：00
【場 所】オンデマンド配信（日臨技システムを利用）
【定 員】500 名 ※定員枠を増枠しました
【受講料】1,000 円
【日 程】 総講演時間 ：３００分
第 1 講 尿定性検査のピットフォール （時間：４５分）
岩手医科大学附属病院 畠山 和枝
第 2 講 「覚える」から『理解し伝える』尿沈渣検査へ （時間：５０分）
八戸赤十字病院 阿部 紀恵
第 3 講 尿沈渣検査法 2010 に掲載されていない新規成分について （時間：５０分）
済生会新潟病院 小野 篤史
第 4 講 U-CPC：尿沈渣的データ解釈のすすめ （時間：６５分）
～知っておくと役に立つ病態と沈渣～　　東北大学病院 金沢 聖美
第 5 講 「尿沈渣検査、省みること二度三度、次世代への引継ぎ。」（時間：９０分）
～ロマン派でもいいじゃないか～　　平内中央病院 坂牛 省二
【申し込み期間】2021 年 12 月 1 日～2022 年 1 月 15 日（受講料振り込みを含む）
【申し込み方法】基本的に日臨技ホームページの会員専用ページからログインして事前参加登録を行ってください。(URL：www.or.jamt.or.jp/index.php)

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和 3 年度

臨床検査技師のための臨床研究と CPC に関する研修

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会

【テーマ】臨床検査技師のための臨床研究・治験についての基礎知識

【日時】令和４年３月１３日　９：３０～１６：１０

【場所】Web 開催（Zoom によるリアルタイム配信を予定）

【定員】８０名（定員になり次第締め切ります）

【受講料】会員 3,000 円（税込）　非会員　6,000 円(税込)

【締切】令和３年１１月２４日（水）申込開始、令和４年２月４日（金）締切（定員になり次第締め切ります）

【生涯教育研修制度】専門教科　２０点

【日本臨床薬理学会認定 CRC 制度】　認定単位５単位

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和 3 年度

職能拡大推進事業　ＰＳＧ研修会（第３回）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会

【テーマ】睡眠ポリグラフ検査（PSG）判定の更なる応用と臨床事例を考える

【日時】令和４年２月２７日　９：２５～１６：００

【場所】Web 開催（Wrbinar によるリアルタイム配信を予定）

【定員】２００名（定員になり次第締め切ります）

【受講料】会員 3,000 円（税込）　会員のみ

【締切】令和４年２月１０日（木）

【生涯教育研修制度】専門教科　２０点

北日本支部医学検査学会が開催されました

北日本支部医学検査学会が１１月１日～１１月３０日、Web 開催（オンデマンド配信）されました。

関係スタッフ、並びに参加された方お疲れさまでした。

検査と健康展 in やはぱーく開催されました

令和３年度　全国　検査と健康展 in やはぱーく　を終えて

公益事業部長　川村　将史

去る、令和３年 11 月 14 日（日）矢巾町の矢巾町活動交流センター　やはぱーくにおいて、令和３年度　全国　検査と健康展 in やはぱーくが開催されました。岩臨技ではこれまで各地区巡回形式で開催してきましたが、ついに一昨年度５圏域を１周することができました。各地区の会長をはじめ各地区会員の方々には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼させていただきます。ありがとうございました。

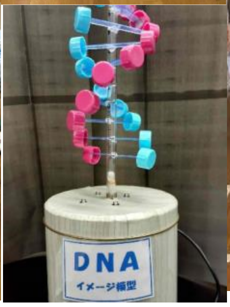
昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、２年ぶりの開催となった今回は、再スタートとして原点である盛岡地区技師会を中心として開催しました。

感染対策に重点を置いた開催となった今回は、来場者全員に入館時に体温確認、手指消毒の徹底、マスクの着用をお願いしました。接触感染防止のため、展示機器は原則接触禁止にしましたが念のために周辺には手指消毒剤を設置し、検査説明時はソーシャルディスタンスを実践しました。スタッフの感染対策としては、来場者との接触時間を減らすようにするため、３から４名１組で１時間交代として運営しました。

今回は 133 名もの多くの方にご来場いただきました。来場者には、設置した PPE 体験コーナーで、実際に新型コロナ対策で着用している実際の PPE を着用していただき、医療従事者のしんどさを体験していただきました。

コロナ禍で PCR 検査など、国民が興味を持ってくれている今こそ、それを臨床検査技師が行っている仕事であることを直接県民に伝えることができ、臨床検査技師の認知度向上を行えたと実感しています。また、コロナ禍である今こそ重要な健康に対する啓発活動も行えました。

医療機関に従事するスタッフが多く、スタッフとしての参加規制もあり、感染対策に関してはとても気を使いました。そのような中で、参加していただいたスタッフにはとても感謝しています。ありがとうございました。なお、下の写真の「DNA イメージ模型」は盛岡市立病院の三田隼士さんの手作りで、来場者は実際に DNA のイメージでき、分かりやすかったと関心も高かった展示になりました。この模型はモーター内蔵で DNA 部分がグルグル回るんです。新型コロナ対応で多忙な時期にも関わらず、三田さんに作業を許していただいた盛岡市立病院のみなさんにも感謝いたします。ありがとうございました。



（いわて）

今回の『つなぐ』は岩手県立中部病院の千葉美怜さんです

“つなぐ”

今回、県立宮古病院の工藤駿一朗君から「つなぐ」を引き継ぎました、県立中部病院の千葉美怜です。工藤君からこのお話をいただいたのは１年以上前のことでして、話が流れたとばかり思っており、前回の会報を拝見してこの存在を思い出しました。工藤君とは同期であり、昨年だったかそれ以前に、クライミングと登山に誘われていましたが未だ実現できていません。そんな関係です。

さて、つなぐのテーマですが、みなさん書かれているように趣味にしたいなと思いますが、私には趣味といえるものがありません。しいて言えば冬にスノーボード行くくらいです。いろんなことをしたい気持ちは山々ですが、継続して何かに取り組むことが苦手です。例え話をしますと、実家にワンピースのマンガ本が全巻そろっていますが、毎回読もうとしても 10 巻止まりで話が進みませんし、運動不足解消目的で始めたジムは最初意気込んで週 2 契約でしたが今では月 1 です（ジムに関しては後輩と共に行くので後輩も同罪です）。面倒くさがりなのか、天性の飽き性なのか、ちびまる子ちゃんみたいだねと言われがちの私ですが、半年ぐらい前になりますが趣味探しをはじめました。海が好きという理由だけではありますが、今流行りの釣りガールになろうと決めました。私が釣りを趣味にすると聞きつけた後輩からいただいた対象年齢６歳のおさかな釣りゲームからはじめ、それからホームセンターで１番安い浜っこ釣り竿を購入し、現在は見様見真似でちょい投げ釣りができるまでに昇格しまして、着々と釣りガールへと近づいてる感はあります。これまでに、大槌、釜石、大船渡に足を踏み入れましたが、釣れた数や魚種関係なく釣れれば楽しいですし、よき堤防や漁港はないかといろいろ散策して穴場探しするのも楽しいなと感じております。

こんな感じで、まだ釣りの魅力を皆さんにお伝えできるほどに到達しておらず、お恥ずかしいです。今後の目標としては釣った魚をさばくなりしておいしくいただけるぐらいになることと、船釣りでイカとか釣ってみたいです。でも、やはりまずは継続ですね。

右の写真は本テーマとまったく関係ありませんが、9 月下旬あたりに父の実家の田んぼでコンバインを運転し稲を刈ってきました。今年は、まぁまぁ豊作のようでした。現在は古米、古々米をいただいていますが、はやく真っ白な新米が食べたいです。

次回は、同期で県立遠野病院の阿部瑞帆さんにつなぎます。原稿締め切り間近の時に焦ってダメ元で頼んだところ、快く引き受けてくれて助かりました。お忙しい中、ありがとうございます。よろしくお願いします。

登山便り

チーム医療登山

江刺病院　菊池英岳

コロナ禍で行動制限が厳しい中、３密を避け運動不足解消を兼ねて焼石岳に山行に行ってきました。

メンバーは臨床検査技師と診療放射線技師で、遠野病院中心のメンツでした。

7 月 31 日（土）早朝、里から見る山は雲で隠れて姿を見せず、怪しい感じでしたが、林道を走り続け登山口近くになるにつれて登山可能な雰囲気になってきました。

焼石岳は初めての方もいたのと、私自身も体力の衰えを感じてきたので給水・モグモグタイムを多く織り交ぜながら約 4 時間で無事全員登頂できました。200 名山にもなっている山なので途中県外の団体さんも多くいて、僅かな高山植物と時おり吹く涼風で夏山感を感じてきました。焼石は残雪がいつまでも残っていることで有名ですが、さすがに今回は時期が過ぎていて、雪渓を歩くことはなかったですが、その代わりに頂上では無数のトンボと快晴のパノラマが出迎えてくれ、ノンアルで乾杯をして下山しました。途中から予報通り雨が降り久しぶりのカッパを羽織る場面にでくわしました。帰り最寄りの温泉で汗を流した方もいましたが、わたしは直帰して本物のビールで疲れを癒しました。次回は未定ですがどこかに企画したいと思います。

今回の登山がチーム医療推進・多職種連携の一助になれば幸いです。

登る前は不安を抱えながらもこんな感じでした

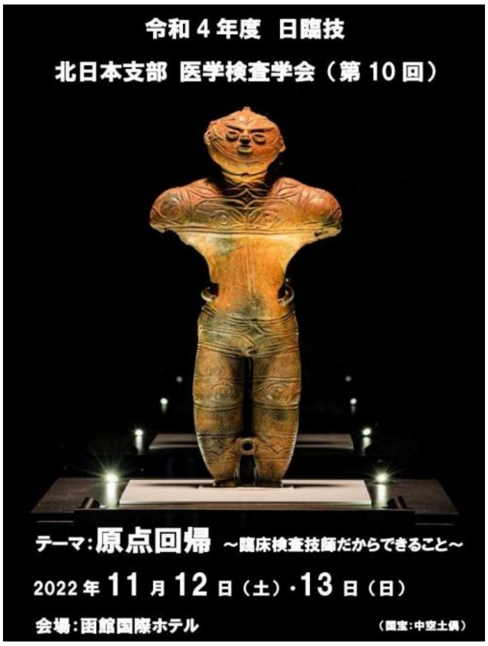
頂上では疲れを忘れるくらいの天気でした

下山後は達成感と笑顔もありますが雨にも当たったせいか・・・・

次の開催地は、北海道　函館です。

テーマは「原点回帰」です。開催形式は

どうなるかわかりませんが、よろしくお



事務局からのお知らせ

「日臨技システムへのメルアド登録のお願い」です。

登録していないと、日臨技、岩臨技からの情報が届きません。

（行事・研修会情報、研修会事前参加者宛メールなど）

登録されていない方、ぜひともよろしくお願いします。

～編集後記～

新型コロナウイルス感染症が落ち着いていますが、世間では、デルタ株、オミクロン株と変異株も検出されています。引き続き、手指消毒、感染対策しましょう。今年度から会報「いわて」担当していますが、前回発行から日が経っていますが、今後は定期的に発行します。よろしくお願いいたします。
（ふじ２）

会報「いわて」第 333 号 2021.12

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会　　長 ： 菊池　英岳

事 務 局 ： 下川　波歩

編集責任者 ： 藤倉　由規

藤原　教徳

〒020-8505　盛岡市内丸 19－1 岩手医大中検内

Tel.(019)613-6111 内線 3699　Fax. (019)654-8510

http://www.iwateamt.or.jp/

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp